



平成 21 年 10 月 5 日

各 位

会社名 株式会社竹内製作所  
 代表者名 代表取締役社長 竹内 明雄  
 (JASDAQ・コード 6432)  
 問合せ先 取締役経営企画室長 神山 輝夫  
 電話番号 0268-81-1100 (代表)

平成 22 年 2 月期第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 4 月 15 日付「平成 21 年 2 月期 決算短信」において発表いたしました平成 22 年 2 月期（平成 21 年 3 月 1 日～平成 22 年 2 月 28 日）の第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 2 月期 第 2 四半期累計期間業績予想の修正(平成 21 年 3 月 1 日～平成 21 年 8 月 31 日)

(1) 修正の内容

【連結】

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	10,300	△420	△310	△540	△33.75
今回修正 (B)	10,454	△31	817	885	55.32
増減額 (B—A)	154	389	1,127	1,425	
増減率 (%)	1.5	—	—	—	
(ご参考)前期中間期実績 (平成 21 年 2 月期中間期)	35,679	3,965	3,944	2,439	159.33

【個別】

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	4,900	△900	△640	△650	△42.46
今回修正 (B)	5,861	△796	△135	249	15.56
増減額 (B—A)	961	104	505	899	
増減率 (%)	19.6	—	—	—	
(ご参考)前期中間期実績 (平成 21 年 2 月期中間期)	29,132	2,040	2,107	1,333	87.08

## (2) 修正の理由

### 【連結】

売上高は、米国では住宅投資の減少等の影響を受けてミニショベル、油圧ショベル及びクローラーローダーの建設機械の販売台数が前回予想よりも減少するものの、欧州でのミニショベル及び油圧ショベルの建設機械の販売台数が増加することから、前回予想よりも1億5千4百万円増加し104億5千4百万円になる見通しであります。

利益の面では、外国為替レートが前回予想に対して、米ドルは円高に推移しましたが英ポンド及びユーロが円安に推移したこと、及び販売子会社の在庫減少により未実現利益の発生が前回予想よりも少ないことにより、営業損失は、前回予想よりも3億8千9百万円減少し3千1百万円になる見通しであります。営業外収益において、英ポンド及びユーロの外国為替レートが平成21年2月末に対して円安に推移したことから、当社の売掛金等の外貨建債権に為替差益が4億2百万円発生しました。また、人民元の外国為替レートが平成20年12月末に対して円安に推移したことから、中国子会社の買掛金等の外貨建債務に為替差益が2億1千6百万円発生しました。また、生命保険契約の解約により保険解約返戻金1億5千6百万円の収益がありました。これらにより、経常利益は、前回予想よりも11億2千7百万円増加し8億1千7百万円（前回予想は経常損失3億1千万円）になる見通しであります。回収不能の恐れがあるとして計上した貸倒引当金が回収努力の結果、一部回収となったことから、特別利益に貸倒引当金戻入額を3億8千4百万円計上することから、四半期純利益は、前回予想よりも14億2千5百万円増加し8億8千5百万円（前回予想は四半期純損失5億4千万円）になる見通しであります。

### 【個別】

売上高は、欧州へのミニショベル及び油圧ショベルの建設機械の販売台数が前回予想よりも増加することから、前回予想よりも9億6千1百万円増加し58億6千1百万円になる見通しであります。

利益の面では、売上高が増加する見通しであることから、営業損失は、前回予想よりも1億4百万円減少し7億9千6百万円になる見通しであります。営業外収益において、英ポンド及びユーロの外国為替レートが平成21年2月末に対して円安に推移したことから、売掛金等の外貨建債権に為替差益が4億2百万円発生しました。また、生命保険契約の解約により保険解約返戻金1億5千6百万円の収益がありました。また、第2四半期に予定していた子会社からの配当金1億2千7百万円の受取が第3四半期以降に延期になりました。これらにより、経常損失は、前回予想よりも5億5百万円減少し1億3千5百万円になる見通しであります。回収不能の恐れがあるとして計上した貸倒引当金が回収努力の結果、一部回収となったことから、特別利益に貸倒引当金戻入額を3億8千4百万円計上することから、四半期純利益は、前回予想よりも8億9千9百万円増加し2億4千9百万円（前回予想は四半期純損失6億5千万円）になる見通しであります。

## 2. 平成22年2月期 通期業績予想の修正(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

### (1) 修正の内容

### 【連結】

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	百万円 24,900	百万円 △300	百万円 △240	百万円 △620	円 銭 △38.36
今回修正 (B)	22,300	△580	40	△10	△0.62
増減額 (B-A)	△2,600	△280	280	610	
増減率 (%)	△10.4	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年2月期)	52,424	5,000	714	△1,492	△97.49

【個別】

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	14,000	△1,200	△900	△910	△59.44
今回修正 (B)	12,100	△1,680	△910	△530	△32.79
増減額 (B—A)	△1,900	△480	△10	380	
増減率 (%)	△13.6	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年2月期)	41,527	1,557	△1,606	△2,463	△160.89

(2) 修正の理由

【連結】

当社グループの主力事業である建設機械事業において、主力市場である米国の経済は、実質 GDP 成長率が第1四半期（平成21年1月から3月まで）及び第2四半期（平成21年4月から6月まで）ともに前期比マイナスとなり4四半期連続のマイナス成長となりました。当社グループの製品の需要への影響が大きい住宅投資も第1四半期が前期比マイナス38.2%、第2四半期が前期比マイナス23.3%になりました。欧州の経済も実質 GDP 成長率が第1四半期及び第2四半期ともに前期比マイナスとなり5四半期連続のマイナス成長となりました。第3四半期以降の米国及び欧州の経済は、景気が底打ちし回復入りが予想されております。

建設機械の販売台数は、前回予想は第3四半期以降、米国での建設機械の需要の増加による販売台数の増加を予想しておりましたが、建設機械の需要は微増にとどまり販売台数も微増になる見通しであります。また、欧州においても、前回予想は第3四半期以降、需要の増加により販売台数は増加する予想をしておりましたが、横這いになる見通しであります。以上から売上高は前回予想よりも26億円減少し223億円になる見通しであります。

利益の面では、売上高の減少により、営業損失は、前回予想よりも2億8千万円増加し5億8千万円になる見通しであります。営業外収益において、米ドル・英ポンド・ユーロ・人民元の外国為替レートが第3四半期以降円高に推移する予想から、第2四半期連結累計期間に発生した為替差益が減少し、為替差益は3億1千4百万円になる見通しであります。また、第2四半期連結累計期間に生命保険契約の解約により保険解約返戻金1億5千6百万円の収益がありました。これらにより経常利益は、前回予想よりも2億8千万円増加し4千万円（前回予想は経常損失2億4千万円）になる見通しであります。回収不能の恐れがあるとして計上した貸倒引当金が回収努力の結果、一部回収となったことから、特別利益に貸倒引当金戻入額を3億8千4百万円計上することから、当期純損失は、前回予想よりも6億1千万円減少し1千万円になる見通しであります。

なお、本業績見通しにおける第3四半期以降の外国為替レートは、1米ドル=90円、1英ポンド=148円、1ユーロ=133円、1人民元=13.3円を前提としております。

【個別】

売上高は、連結と同様の見通しから、前回予想よりも19億円減少し121億円になる見通しであります。

利益の面では、売上高の減少により、営業損失は、前回予想よりも4億8千万円増加し16億8千万円になる見通しであります。営業外収益において、米ドル・英ポンド・ユーロの外国為替レートが第3四半期以降円高に推移する予想から、第2四半期累計期間に発生した為替差益が減少し、為替差益は2億9千2百万円になる見通しであります。また、第2四半期累計期間に生命保険契約の解約により保険解約返戻金1億5千6百万円の収益がありました。これらにより経常損失は、前回予想よりも1千万円増加し9億1千万円になる見通しであります。回収不能の恐れがあるとして計上した貸倒引当金が回収努力の結果、一部回収となったことから、特別利益に貸倒引当金戻入額を3億8千4百万円計上することから、当期純損失は、前回予想よりも3億8千万円減少し5億3千万円になる見通しであります。

なお、本業績見通しにおける第3四半期以降の外国為替レートは、1米ドル=90円、1英ポンド=148円、1ユーロ=133円、1人民元=13.3円を前提としております。

以上

※ 業績予想等の適切な利用に関する説明

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。